利に再判定
わずか1割

ービス事態の判定報酬区分

対し国が示って判定をのは436しかなく、(67・3%)するとして認められて泄など5つ目で判定すていたこと

の高い「区された事業(15・1%)」が995(9%)と、に該当する的な多さと

なっていた。

再判定の実施対象となるのは①保護者から聞き取りを行わず書面だけで判定を行った児童②事業者から合理的な理由に基づいて再判定の求めがあった児童の2種類とし、判定にあたっては保護者や相談支援専門員からの情報も活用すること、国が示したマニュアルの判断基準の考え方に沿って判定を行うことなどの留意点も明記した。

施設整備分の内示額少なく

18年度総合確保基金 8県で「要望額0円」

厚生労働省は7月31日、地域医療介護総合確保基金について、今年度1回目の都道府県別の内示額を発表した。施設整備分と従事者確保分の合計は222・7億円。昨年度の第1回内示額より196億円減と大幅に下回っている。

厚労省によると、内示額は「都道府県からの要望額を満額出したもの」という。内訳を見ると、施設整備分は158億円で、前年初回比で210億円減少。昨年度を上回る内示額は9都県にとどまり、「要望額0円」も8県に上った。昨年度、施設整備分で37・6億円を要望していた埼玉県は、今年度はゼロ要望。

「過去の積み上げ分が86億円あり、計画している施設整備は積立残高分で賄えるため」(県高齢者福祉課)という。

一方、介護従事者確保分は全体で64・71億円で、13・6億円増加していた。

基金について厚労省は、今年度予算額で483億円(国費分)を確保している。2回目以降の内示も行う予定とするが、都道府県からの要望額が少なければ、予算が大幅に余る可能性もある。

生活支援サービス情報サイト開設

八王子市

八王子市は1日、高齢者向けに市や民間などが行うサービス情報を見やすくまとめたウェブサイト「八王子市 地域包括ケア情報サイト」を開設・公開した。

医療機関や介護サービス施設を始め、介護用具・介護タクシーの提供店や施設、高齢者のための身近な相談機関やイベント情報まで10のカテゴリーから必要な情報へとアクセスができる。情報件数は2000件以上。

トップに、基本チェックリストを掲載したのは工夫した点という。気軽に自己診断できる。結果から、利用したほうがいいサービスを地図上でも推奨してくれる。

情報は随時更新される。市福祉部高齢者福祉課は、「高齢者本人をはじめ、ご家族、地域のケアマネジャーさんなど、支援者の方にも有効に利用して欲しい」と話している。

帯広で全国大会

日本ホスピス・在宅ケア研究会

日本ホスピス・在宅ケアナーで、同大医学部付属八王子病院の山本至宏整形外科医長が講演した。

BKPは、経皮的椎体形成術の略。骨折した脊椎内部の錐体に注射針でバルーンを挿入。バルーンを拡張してつぶれを直した後で、バルーンを除去し専用骨セメントを充填する。全身麻酔は必要だが、出血はほとんどなく、術後2~3日で退院可能。2011年から保険適用になっているが、

「急性期」「十分な保存加療により疼痛が改善されない場合」と適用が曖昧なため、「現在の実施率は5割程度ではないか」という。

八王子病院の過去3年169例の手術結果は、平均79歳で最高齢は98歳。手術時間25分、平均入院日数は6・8日。保存的治療を受けた患者よりも、自宅に退院する患者が多く、続発性骨折を起こす人も少なかった。

「保存的治療が奏功しなかったら、寝たきりになるリスクが高い。BKPによる治療を行うことは、健康寿命を延ばすことになる」(山本医長)

山本医長

年を取って骨がもろくなると咳やくしゃみをするだけでおきることのある脊椎の骨折。一般に圧迫骨折といわれるが正式には骨粗しょう症性椎体骨折という。安静や装具による保存療法、つまり様子をみるしかなかったのが最近では手術による治療も行われるようになっている。

骨粗しょう症性椎体骨折

BKP手術が有効

寝たきり予防にも

「BKPは驚くほど低侵襲で痛みをとる効果が高い。我々の病院では治療の第一選択肢」

7月30日都内で開かれた東海大学のプレスセミ

福祉用具貸与・販売で市内初の指定取消

北九州市

北九州市は1日、利用者に福祉用具を販売していないのに販売したとして約38万9千円を架空請求をしたほか、指定当初から管理者1人のみで人員配置基準を満たしていないのに満たしていると

48・8000。

也 務果并モフ社会・愛護 社会・愛護司章書呆建倡 車携改案課長、医改司并 典範改正準備室室員)、田洋介(保険局国民健康